

科目名称	精神看護学概論	学年学期	単位数	時間数
		1学年後期	1	30
担当教員	石崎孝太郎、今村高暢	授業に関わる実務経験	<input checked="" type="checkbox"/> 有（看護師・医師） <input type="checkbox"/> 無	

【1】 授業概要

現在社会では、さまざまな環境問題によりあらゆるストレスを抱えており、心の不健康状態を呈している人間が多い。そのため、精神の健康と保持・増進に向けた精神保健についての基礎的知識と精神看護の役割について学ぶ。また、地域社会の中で精神保健医療福祉におけるチームが、対象の人権擁護や安全を守りながら社会復帰に向けてどのように支援と連携を行っているのか基礎的知識と看護の役割について学ぶ。

【2】 学習目標

1. 精神の健康と保持・増進に向けた基礎的知識を学び、看護の役割について説明できる。
2. 脳の機能と心の働きを知り、ストレスに対する人間の適応過程を理解できる
3. 精神疾患をもつ人の処遇や治療に関する歴史と関連法規の変遷を知り、倫理的課題を理解できる。

【3】 第2看護学科ディプロマポリシーとの関連性

- 1. 生活者としての人間を統合された存在として多角的に捉えることができる。
- 2. 人間の生命、人間としての尊厳及び権利を尊重した判断および行動をすることができる。
- 3. 人々の多様な価値観を認識して、専門職業人としての共感的態度および倫理に基づいた看護実践をすることができる。
- 4. 看護の対象となる人々の健康状態を判断し、科学的根拠に基づいた看護を実践することができる。
- 5. 保健・医療・福祉チームの一員として多職種の連携・協働を図り調整的役割を果たすことができる。
- 6. 松山市および愛媛県周辺の地域医療への理解を深め、地域の人々の生活を尊重・支援することができる。
- 7. 自己の資質向上のため、看護に対する探究心・向上心を持ち、主体的に学び続けることができる。

【4】 授業計画

	内容	主な授業形態
1	精神看護の意義	講義
2	歴史と制度	講義
3	精神保健福祉法	講義
4	医療観察法	講義
5	脳の機能と心の働き	講義
6	治療と倫理(歴史)	講義
7	治療と倫理(薬物・CBT)	講義
8	虐待防止	講義
9	精神障害をもつ人の地域での生活を考える	講義
10	社会復帰とリハビリ	講義
11	精神疾患(障害)の特徴	講義
12	精神疾患(障害)の特徴	講義
13	精神疾患(障害)の特徴	講義
14	精神疾患(障害)の特徴	講義
15	筆記試験・まとめ	

【5】 評価方法

科目評価は、①筆記試験 80% ②レポート課題 20%で総合的に評価する。

【6】 教科書

武井麻子他:系統看護学講座 専門分野 精神看護学(1) 精神看護の基礎 (第6版) 医学書院 2026 (電子版)
武井麻子他:系統看護学講座 専門分野 精神看護学(2) 精神看護の展開 (第6版) 医学書院 2026 (電子版)

【7】 参考書

授業内で提示する。

【8】受講生へのメッセージ

既習の知識や新たな知見を得ながら学びを深めていきましょう。